

祝 白寿のお二人

京都支部 北口夢石 さま
東京支部 大石 さま

北口夢石先生の 白寿を祝う会

京都支部長 飯村 君江

新緑が目に見える五月二日、北口夢石先生が九九歳の誕生日を迎えられました。
五月一五日に支部総会をひらくことにしていましたので、その時にサプライズで白寿をお祝いすることにしました。



夢石先生を囲んで(前列中央)

役員で欠席者も含めたお祝いメッセージの色紙づくり、花束、ケーキ、心ばかりの品を用意。食事終わりのお茶の席でハッピー

パーティーをみんなで歌うことから始めた白寿を祝う会。
先生は一瞬驚かれましたが、本当に嬉しい顔をされ喜んでいただきました。

お元気で活躍の先生に会員一同あやかりたいし、先生は最高のお手本です。又支部長も長年にわたりしてくださって感謝申し上げます。

先生 いつまでもお元気で！



第45回新日美展「オーロラ」北口夢石

死ぬまで 絵を描く

委員 大石 亨

私は九九歳。よく永らく生きて来たものだ。最近足腰が衰え、行動がままならぬ状況。その上、視力が急速に落ちた。絵を描くのも限界だ。ただ不思議と足腰、目以外は割かし、しっかり

しているので、なんとか今日まで絵を描いている。

そこでここ数年、米国の代表的抽象画家ジャクソン・ポロックにあやかっつて、キャンバスを床に置き、棒や筆で自由に絵具をたらす、いわゆるドリッピング画法で制作している。これだと制作中、画面にナニがおきているかなど意識しないで済むし、無我夢中で制作出来るので、従来の制作に比べる。

しかも偶然ながら線が交差し、今まで想像もなかった面白



選抜小品展の展示を終えて(前列中央 大石ご夫妻)

い絵が出来上がる。これが絵かどうかなど考える必要はない。シメタ！これなら死ぬまで絵が描け

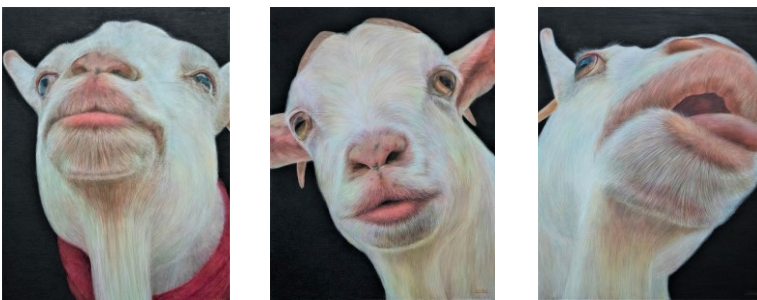
る、私は意を強くした。

諸兄弟よ、お互い長生きして、死ぬまで絵を描き続けようではないか。



第45回新日美展「自由 A」大石 亨

山羊 モデルのユキ 1.2.3



Animal Eyes 長谷川まどかギャラリー